

小麦作況調査（3月25日現在の生育状況）

令和8年4月3日
岩手県農業研究センター
県北農業研究所

1. 気象概況

前回の調査（令和7年11月25日）以降、平均気温は概ね平年並～高く推移した。日照時間は、12～1月は概ね平年並～少なく、2～3月は2月第6半旬を除き概ね平年並～多く推移した。根雪期間は12月26日から2月20日までの57日間で、平年より12日短かった。3月25日現在の今冬の積雪日数は65日となっている。

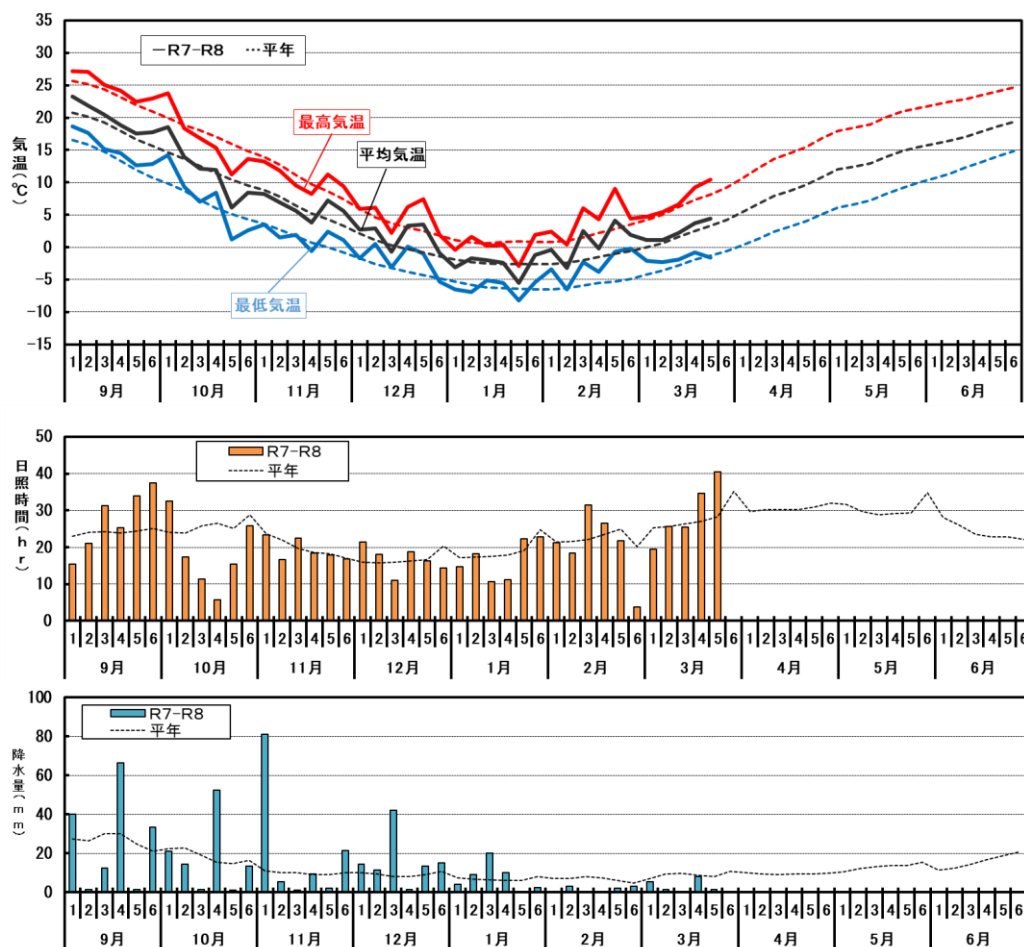


図1 県北農業研究所における半旬別気象経過図（3月第5半旬まで）

- ※ 気温と日照時間は県北農業研究所気象観測値、降水量は軽米アメダス観測値
- ※ 「平年」は、H9～R6の28カ年平均

2. 生育状況（3月25日現在）

「ナンブコムギ」と「ゆきちから」について、草丈は平年より短く、葉数と株あたりの茎数は平年より多かった。地上部乾物重は「ナンブコムギ」が平年比215%、「ゆきちから」が平年比180%で平年よりかなり重かった。「ナンブキラリ」は昨年と比較して草丈は短く、葉数と株あたりの茎数は多く、地上部乾物重は前年比201%でかなり重かった。根雪期間が短く暖冬だったことから葉数が多くなったものと考えられる。

表1 根雪期間

年次 播種-収穫	根雪期間			
	始め	終わり	日数	
R7-8	12/26	2/20	57	根雪期間 ①長期積雪（積雪継続が30日以上）の時の初日から終日までの期間 ②積雪継続が10日以上の間が2つ以上で、かつ、2つの期間の無積雪日が5日以内 ③上記②が2つ以上ある場合はそれぞれを第一、第二、…第nとし、根雪期間は第一の初日から第nの終日とする。 ※平年は10カ年平均 ※根雪期間がなかった場合は平均計算から除外
R6-7	12/15	2/28	76	
R5-6	-	-	-	
R4-5	12/14	3/7	84	
R3-4	12/27	3/10	74	
R2-3	12/14	1/26	44	
R1-2	12/20	2/22	65	
H30-31	-	-	-	
H29-30	1/22	3/9	47	
H28-29	12/24	3/21	88	
H27-28	-	-	-	
H26-27	1/17	2/26	41	
H25-26	12/21	3/28	98	
H24-25	12/24	3/8	75	
平年			69	

表2 生育状況

品 種	播種 年次 (令和)	播種180日後 (3/25)			越冬後		地上部 乾物重 (g/株)	雪腐病 ^{※2} 被害程度
		株数 (株/m ²)	草丈 (cm)	葉数	茎数			
					(本/株)	(本/m ²)		
ナンプ	R7	157	19.2	11.0	12.9	1483	3.63	0.0
コムギ	平年 ^{※1}	178	24.0	8.8	10.5	1883	1.69	0.0
	差・比	88%	-4.8	2.2	2.4	79%	215%	-
ゆき	R7	160	20.2	10.1	13.4	1898	2.48	0.0
ちから	平年 ^{※1}	200	24.6	8.5	9.6	1943	1.37	0.0
	差・比	80%	-4.4	1.6	3.8	98%	180%	-
ナンプ	R7	157	21.4	9.6	11.2	1473	2.06	0.0
キラリ	R6 ^{※3}	187	23.4	7.7	7.6	1419	1.03	0.0
	差・比	84%	-2.0	1.9	3.6	104%	201%	-

※1 平年値は、令和2年～令和6年播種の5年間平均値。

※2 雪腐病被害程度は0～5（無、微、少、中、多、甚）の6段階評価。

※3 ナンプキラリは令和5年から調査を開始しておりデータ数が不十分な為、令和6年のデータと比較した。

※4 令和2～令和6年播種は、播種量9kg/10aで供試。令和7年播種は8kg/10aで供試。

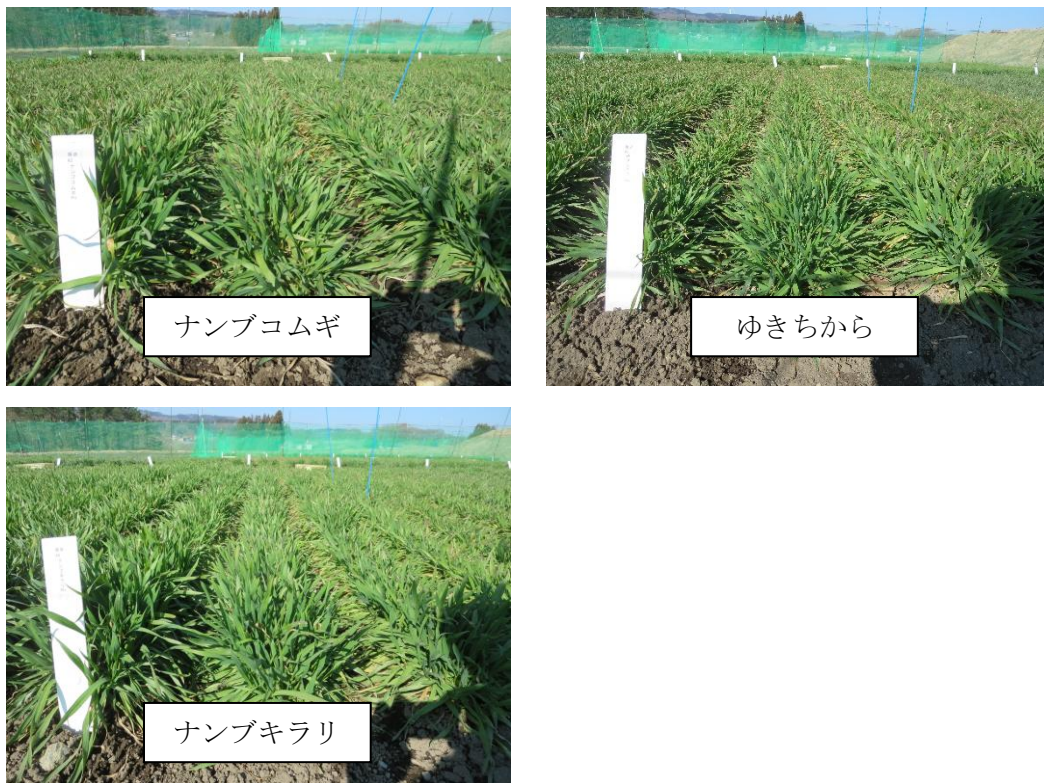


図1 小麦の生育状況（3月25日撮影）

3. 耕種概要

播種日：令和7年9月25日

播種量：8 kg/10a（設定値）

播種様式：手播き（条間30cm）

施肥量：基肥 N-P₂O₅-K₂O=6.0-11.3-13.5kg/10 a（麦専用）

融雪期追肥 N-P₂O₅-K₂O=2.0-0.0-0.0kg/10 a（硫安 3月16日）

供試品種：ナンブコムギ、ゆきちから

雑草防除：ゴーゴーサン乳剤（9月26日播種後）

病害防除：フロンサイドSC（9月24日）

種子消毒：トリフミン水和剤（9月11日）

麦踏み：11月25日、3月13日